

## 記者発表資料

# 平成24年度 九州地方整備局関係 補正予算の概要

平成 25 年 2 月 26 日  
国土交通省 九州地方整備局

九州地方整備局 TEL092-471-6331(代表)

### 【問い合わせ先】

|         |       |           |               | (直通電話)         |
|---------|-------|-----------|---------------|----------------|
| 総 括     | 企画部   | 企画課長      | 小 澤(内線 3151)  | (092-476-3542) |
| 一括配分関係  | 総務部   | 予算調整官     | 平 (内線 2219)   | (092-476-3507) |
| 河川関係    | 河川部   | 河川計画課長    | 藤 本(内線 3611)  | (092-476-3523) |
| 道路関係    | 道路部   | 道路計画第一課長  | 本 田(内線 4211)  | (092-476-3529) |
| 港湾・空港関係 | 港湾空港部 | 港湾計画課長    | 馬 場(内線 62320) | (092-418-3358) |
| 都市・住宅関係 | 建政部   | 都市・住宅整備課長 | 得 丸(内線 6161)  | (092-471-6355) |
| 官庁営繕関係  | 営繕部   | 計画課長      | 十 河(内線 5151)  | (092-476-3535) |

# 1. 平成24年度 九州地方整備局関係 補正予算の概要

## 1) 予算規模

九州地方整備局の補正予算総額は、事業費で約3,618億円

うち、  
直轄事業 約1,111億円(うち、一括配分 約335億円)

補助事業等 約2,507億円(うち、一括配分 約8億円)

### ①直轄事業

(単位:百万円)

| 事業区分     | 平成24年度<br>当初予算 | 平成24年度 補正予算 |         |        |
|----------|----------------|-------------|---------|--------|
|          |                | 歳出予算        |         |        |
|          |                | うち一括配分      | うち一括配分  | うち一括配分 |
| 治水       | 71,488         | 17,962      | 40,261  | 14,086 |
| 海岸       | 3,776          | 0           | 600     | 0      |
| 道路       | 137,394        | 36,143      | 60,029  | 18,854 |
| 港湾       | 39,869         | 0           | 8,045   | 0      |
| 空港       | 2,761          | 0           | 1,233   | 0      |
| 都市水環境    | 2,637          | 631         | 0       | 0      |
| 公園       | 2,977          | 0           | 380     | 0      |
| 一般公共事業費計 | 260,902        | 54,736      | 110,548 | 32,940 |
| 営繕関係     | 1,173          | 1,173       | 560     | 560    |
| 合計       | 262,075        | 55,909      | 111,108 | 33,500 |

※本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。

※本表には、営繕の支出委任は含まない。

※別途、平成24年度補正予算(ゼロ国債)が事業費で27,629百万計上されている。

## ②補助事業等

(単位:百万円)

| 事業区分            | 平成24年度<br>当初予算 |        | 平成24年度 補正予算 |        |
|-----------------|----------------|--------|-------------|--------|
|                 |                |        | 歳出予算        |        |
|                 |                | うち一括配分 |             | うち一括配分 |
| 治水              | 21,240         | 0      | 1,700       | 0      |
| 海岸              | 0              | 0      | 0           | 0      |
| 道路              | 25,224         | 0      | 7,432       | 587    |
| 港湾              | 5,725          | 909    | 2,166       | 240    |
| 住宅対策            | 2,946          | 2,946  | 0           | 0      |
| 市街地整備           | 13             | 0      | 0           | 0      |
| 都市水環境           | 0              | 0      | 0           | 0      |
| 下水道             | 0              | 0      | 0           | 0      |
| 公園              | 531            | 531    | 0           | 0      |
| 補助事業費計          | 55,679         | 4,386  | 11,298      | 827    |
| 社会資本整備<br>総合交付金 | 375,566        | 0      | 68,681      | 0      |
| 防災・安全交付金        | 0              | 0      | 170,713     | 0      |
| 合 計             | 431,245        | 4,386  | 250,692     | 827    |

※本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。

※本表には、営繕の支出委任は含まない。

※別途、平成24年度補正予算(ゼロ国債)が事業費で560百万計上されている。

## 2) 基本的な考え方

平成24年度補正予算については、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（平成25年1月11日閣議決定）に基づき、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」及び「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化した所要の経費等を計上しています。

### I. 復興・防災対策

#### ○事前防災・減災のための国土強靱化の推進、災害への対応体制の強化等

##### 1. 命と暮らしを守るインフラ再構築（老朽化対策、事前防災・減災対策）

###### （1）老朽化対策等の推進

非構造部材、地盤も含め老朽化するインフラ（道路、鉄道、下水道、港湾、水門、堤防等）を適切に維持管理できるよう、安全性の徹底調査・総点検、老朽化対策を実施するとともに、戦略的維持管理システムを構築することとし、その第一歩として、緊急のインフラ総点検、緊急老朽化対策等に取り組みます。

###### ①河川管理施設等の老朽化対策

経年変化の把握のための河川管理施設の詳細点検を実施するとともに、施設の老朽化の進行等により機能が低下した排水機場、水門・樋管等のゲート、高潮堤防、護岸、砂防堰堤等の更新・補修等を実施します。また、洪水時等におけるダムの実確な機能確保のため、これまでの点検において劣化・損傷により更新・補修等が必要と判断された設備等について更新・補修等を実施します。

参考資料 河川－1  
河川－2

###### ②道路ストックの老朽化対策

道路付属物等の点検、道路構造物（トンネル、橋梁等）の緊急修繕、舗装修繕、LED道路照明灯の整備します。

参考資料 道路－1

### ③港湾施設の老朽化対策

港湾施設の老朽化に関する緊急点検を実施するとともに、早急な手当が必要であることが判明している施設について老朽化対策を実施します。

参考資料 港空－ 1

### ④空港の老朽化対策

航空機の安全運航に必要な滑走路等の基本施設について、老朽化に伴う改良を実施します。

参考資料 港空－ 6

## (2) 事前防災・減災対策

事前防災の考え方に基づき、地域の総合的な防災力の向上と「絆」など地域の再生を同時に図ることとし、ハード・ソフト両面から緊急の防災・減災対策に取り組めます。

### 【風水害、土砂災害対策等の推進】

#### ①河川等の風水害及び土砂災害対策

平成24年度九州の豪雨災害を踏まえた堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策や、火山活動や活発で噴火等の影響が大きい地域等における緊急土砂災害対策、大規模災害に備えたソフト対策の充実、TEC-FORCE（テックフォース）の機能強化等を図るとともに、台風等により侵食が著しい海岸等における人工リーフや離岸堤等の高潮・侵食対策を実施します。

参考資料 河川－ 3  
港空－ 5

#### ②道路の風水害対策

豪雨災害等による交通障害の発生を抑制するため、風水害対策を実施します。

参考資料 道路－ 2

#### ③港湾における風水害対策

冬季風浪、台風等による風水害が懸念される港湾において、防波堤等の整備により防災・減災対策を推進します。

参考資料 港空－ 2

## 【地震・津波対策等の推進】

### ①河川等の地震・津波対策等

東南海、南海地震等の大規模地震に備え、ダムの確実な操作機能の確保のため予備電源の補強等を実施します。

参考資料 河川－４

### ②道路の地震対策

災害発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するために、防災・震災対策を引き続き推進します。

参考資料 道路－３

### ③港湾における地震・津波対策

近いうちに発生が懸念される地震・津波等に対し、防災・減災効果を有する耐震強化岸壁、防波堤等の整備を推進します。

参考資料 港空－３

### ④空港の地震対策

大規模地震による被災時に空港に求められる機能を維持するため、最低限必要となる基本施設の耐震化を実施します。

参考資料 港空－７

## （３）代替性の確保のための道路ネットワークの整備

災害に強い広域ネットワークを構築するため、今後想定される地震、津波発生時や豪雨時に現道が寸断することにより広域交通に影響を及ぼすおそれがある区間について、代替性の確保のための主要都市間等を連絡する高規格幹線道路の整備を推進します。

## （４）防災拠点となる国の施設の防災対策等の推進

防災拠点となる官庁施設の地震対策、官庁施設における来訪者等の安全の確保及び防災機能維持のための老朽化対策を実施します。

## 2. 防災・安全交付金

防災・暮らしの安心に資する交付金を一括化して、防災・安全交付金を創設し、大規模地震や頻発する風水害・土砂災害に対する事前防災・防災対策、老朽化した社会資本等の総点検の実施、長寿命化等戦略的維持管理・改修の実施、公共施設の耐震化等の安全性強化、密集市街地等の防災性の向上、住宅・建設物の耐震化、防災公園の整備、通学路対策・無電柱化等地方公共団体が実施する国民の命と暮らしを守るインフラ再構築、生活空間の安全確保・質の向上に資する事業に特化して、ハード・ソフト両面から重点的な支援を実施します。

## Ⅱ. 成長による富の創出

### Ⅱ－1 成長力強化

#### 1. 基幹的交通インフラ等の整備推進

渋滞ボトルネック箇所等の交通障害箇所を抽出した後に渋滞解消に向けた対策を早期に実施するとともに、国際海上コンテナ車両等の通行支障区間の解消、高速道路等と鉄道駅とのアクセス道路の整備を推進します。

#### 2. 社会資本整備総合交付金

インフラ整備やまちづくりを通じた民間投資の喚起による地域活性化を図る観点から、交付金を計上し、ICアクセス道路等基幹的交通インフラの整備、地方都市の中心拠点・生活拠点の形成、交通結節点機能の強化、連続立体交差、都市のみどりやオープンスペースの確保による地域の魅力アップ等を図る民間投資喚起・地域活性化につながる事業に対して、ハード・ソフト両面から重点的な支援を実施します。

## Ⅲ. 暮らしの安心・地域活性化

### Ⅲ－1 暮らしの安心の確保

#### 1. 生活空間の安全確保・質の向上

##### (1) 通学路等の交通安全対策

通学路の緊急合同点検結果等を踏まえ、児童の安全確保のため早期に実施する必要がある通学路の交通安全対策を推進します。また、自転車は身近な移動手段等として重要な役割を担うものであり、その事故対策等のため、安全で快適な自転車ネットワークを整備します。

参考資料 道路－4

## （２）無電柱化の推進

安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興、道路の防災性の向上等の観点から、道路管理者、電線管理者等の関係者が連携し、電線共同溝の整備等による無電柱化を推進します。

参考資料 道路－５

## （３）国営公園の安全対策

国営公園において、老朽化した公園施設の補修や質の向上等、公園利用者の安全確保のため早期に実施する必要がある公園施設の安全対策を実施します。

参考資料 都住－１

## ２．防災・安全交付金（再掲）

防災・暮らしの安心に資する交付金を一括化して、防災・安全交付金を創設し、大規模地震や頻発する風水害・土砂災害に対する事前防災・防災対策、老朽化した社会資本等の総点検の実施、長寿命化等戦略的維持管理・改修の実施、公共施設の耐震化等の安全性強化、密集市街地等の防災性の向上、住宅・建築物の耐震化、防災公園の整備、通学路対策・無電柱化等地方公共団体が実施する国民の命と暮らしを守るインフラ再構築、生活空間の安全確保・質の向上に資する事業に特化して、ハード・ソフト両面から重点的な支援を実施します。

## Ⅲ－２ 地域の特色を生かした地域活性化

### １．公共交通の活性化など地域経済・産業の活力向上に資する取組の推進

#### （１）空港の利便性向上による地域活性化

地域経済の活性化のため、航空機の新たな就航に対応するエプロン等を整備します。

参考資料 港空－８

#### （２）地域経済を支える港湾インフラの整備

地域経済の活性化のため、背後に立地する企業の生産活動等の強化に資する港湾インフラの整備を推進します。

参考資料 港空－４



## 2. 社会資本整備総合交付金（再掲）

インフラ整備やまちづくりを通じた民間投資の喚起による地域活性化を図る観点から、交付金を計上し、ＩＣアクセス道路等基幹的交通インフラの整備、地方都市の中心拠点・生活拠点の形成、交通結節点機能の強化、連続立体交差、都市のみどりやオープンスペースの確保による地域の魅力アップ等を図る民間投資喚起・地域活性化につながる事業に対して、ハード・ソフト両面から重点的な支援を実施します。

## 国庫債務負担行為（ゼロ国債）

公共事業の発注平準化措置として、いわゆるゼロ国債（当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注が可能）により効果的な執行を促進します。

## 参 考 資 料

～ 河川管理施設等の老朽化対策 ～

■ 概要

経年変化の把握のための河川管理施設の詳細点検を実施するとともに、施設の老朽化の進行等により機能が低下した排水機場、水門・樋管等のゲート、高潮堤防、護岸、砂防堰堤等の更新・補修等を実施します。また、洪水時等におけるダムの実確な機能確保のため、これまでの点検において劣化・損傷により更新・補修等が必要と判断された設備等について更新・補修等を実施します。

《機能が低下した河川管理施設の更新・補修の事例》

● 堤防を横断する管構造の補修



## I 復興・防災対策

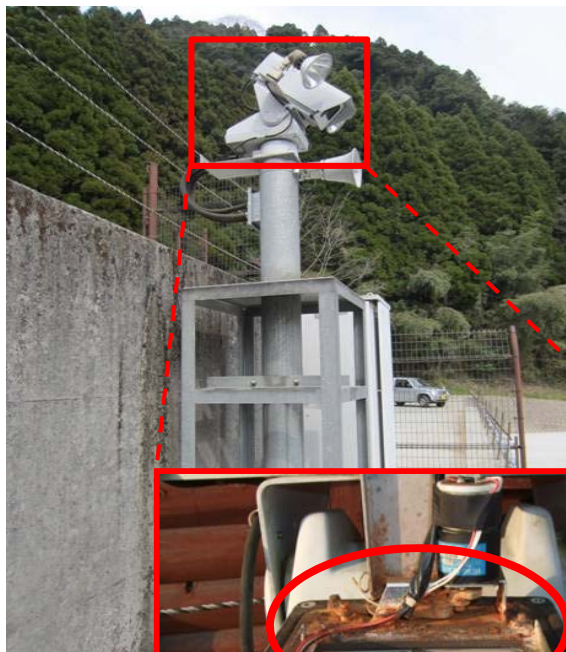
### ～ 河川管理施設等の老朽化対策 ～

#### ■ 概要

経年変化の把握のための河川管理施設の詳細点検を実施するとともに、施設の老朽化の進行等により機能が低下した排水機場、水門・樋管等のゲート、高潮堤防、護岸、砂防堰堤等の更新・補修等を実施します。また、洪水時等におけるダムの確実な機能確保のため、これまでの点検において劣化・損傷により更新・補修等が必要と判断された設備等について更新・補修等を実施します。

### 《機能が低下した河川管理施設の更新・補修の事例》

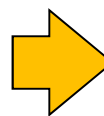
#### ●貯水池内監視設備の更新



ダム貯水池監視事例



腐食 発錆



設備を更新し、機能の維持を図る

## I 復興・防災対策

### ～ 河川等の風水害及び土砂災害対策 ～

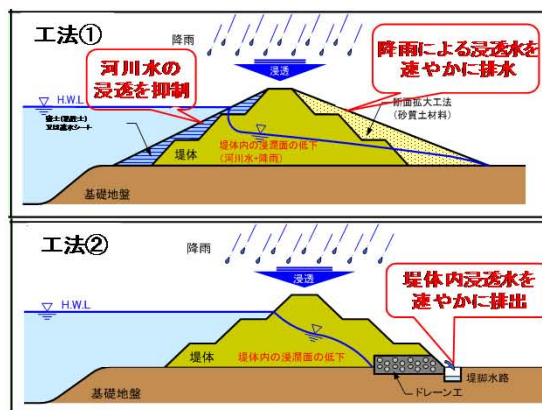
#### ■ 概要

平成24年度九州の豪雨災害を踏まえた堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策や、火山活動や活発で噴火時の影響が大きい地域等における緊急土砂災害対策、大規模災害に備えたソフト対策の充実、TEC-FORCE(テックフォース)の機能機能強化等を図るとともに、台風等により侵食が著しい海岸等における侵食対策を実施します。

#### 【緊急点検結果に基づく緊急対策の事例】

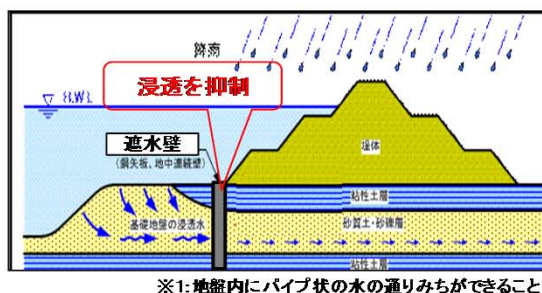
##### 【堤防への浸透】

- 過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊するおそれのある箇所



##### 【パイピング※1】

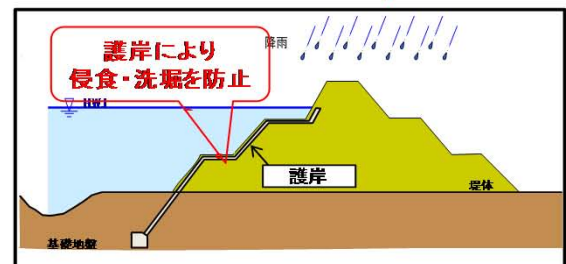
- 旧河道跡等、パイピングにより堤防が崩壊するおそれのある箇所



※1: 地盤内にパイプ状の水の通りみちができること。

##### 【侵食等のおそれ】

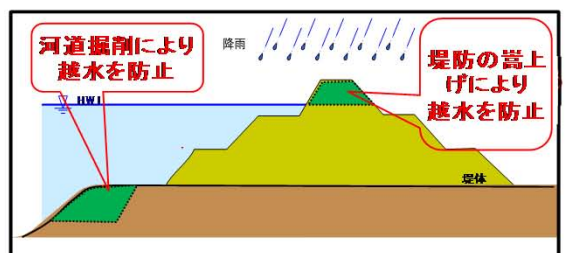
- 河床が深掘れしている箇所や水衝部※2等、河岸侵食・護岸欠損のおそれがある箇所



※2: 洪水の流れが堤防に直接あたる箇所。

##### 【流下能力不足】

- 堤防高が局所的に低い等当面の目標に対して流下能力が不足している箇所（上下流バランスを確保しながら実施）





## I 復興・防災対策

### ～ 河川等の地震・津波対策等 ～

#### ■ 概要

東南海、南海地震等の大規模地震に備え、ダムの確実な操作機能の確保のため予備電源の補強等を実施します。

### 《予備電源増強の事例》



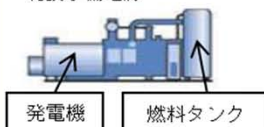
停電時においてもゲート操作ができるよう予備電源が設置されている。



#### 予備電源設備（対策前）

- ・ 停電時に予備電源が故障した場合、洪水調節のための防災操作（ゲート操作）に支障が発生。

既設予備電源



#### 予備電源設備（対策後）

既設予備電源



+

予備電源設備を増設



ダムの確実な操作機能の確保

## I 復興・防災対策

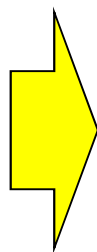
### ～ 道路ストックの老朽化対策 ～

#### ■ 概要

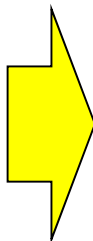
道路附属物等の点検、道路構造物(トンネル、橋梁等)の緊急修繕、舗装修繕、LED道路照明灯を整備します。

#### 【老朽化対策の事例】

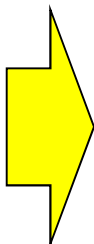
##### ・橋梁補修



##### ・橋梁塗装



##### ・舗装補修



## I 復興・防災対策

### ～ 道路の風水害対策 ～

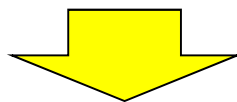
#### ■ 概要

豪雨災害等による交通障害の発生を抑制するため、風水害対策を実施します。

#### 【風水害対策の事例】

##### ・越波対策

整備前



整備後





## I 復興・防災対策

### ～ 道路の地震対策 ～

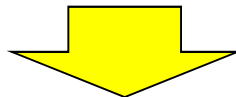
#### ■ 概要

災害発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するために、防災・震災対策を引き続き推進します。

#### 【地震対策の事例】

##### ・橋梁の耐震補強

整備前



整備後



### Ⅲ 暮らしの安心・地域活性化

## ～ 通学路等の交通安全対策 ～

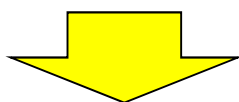
#### ■ 概要

通学路の緊急合同点検結果等を踏まえ、児童の安全確保のため早期に実施する必要がある通学路等の交通安全対策を推進します。また、自転車は身近な移動手段等として重要な役割を担うものであり、その事故対策等のため、安全で快適な自転車ネットワークを整備します。

#### 【通学路等の交通安全対策の事例】

##### ・歩道整備

整備前



整備後



### Ⅲ 暮らしの安心・地域活性化

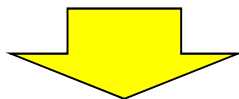
## ～ 無電柱化の推進 ～

#### ■ 概要

安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興、道路の防災性の向上等の観点から、道路管理者、電線管理者等の関係者が連携し、電線共同溝の整備等による無電柱化を推進します。

#### 【無電柱化の事例】

整備前



整備後(イメージ)



～ 港湾施設の老朽化対策 ～

■ 概要

港湾施設の老朽化に関する緊急点検を実施するとともに、早急な手当が必要であることが判明している施設について老朽化対策を実施します。

【老朽化対策の事例】

《老朽化により機能が低下した岸壁への対応》

岸壁の老朽化による利用制限等により、港湾の運営、利用に影響を及ぼす可能性があるため、老朽化対策を実施することにより健全で安定した利用を図ります。

施工前



施工後



岸壁(棧橋式)の上部における老朽化対策

施工前



施工後



岸壁のたわみへの対応



～ 港湾における風水害対策 ～

■ 概要

冬期風浪、台風等による風水害が懸念される港湾において、防波堤等の整備により防災・減災対策を推進します。

【風水害対策の事例】

《防波堤の整備による風水害対策》

防波堤等の整備により港内における航行船舶や荷役の安全性向上を図ります。

波浪による接岸船舶の被害



船舶の動揺により切断された係留ロープ



台風来襲時の防波堤状況

## I 復興・防災対策

### ～ 港湾における地震・津波対策 ～

#### ■ 概要

近いうちに発生が懸念される地震・津波等に対し、防災・減災効果を有する耐震強化岸壁、防波堤等の整備を推進します。

#### 【地震・津波対策の事例】

### 《耐震強化岸壁の整備》

大規模地震による被災直後の緊急物資、避難民等の海上輸送を確保するため、耐震強化岸壁を整備します。



海翔丸(九州地方整備局保有)

被災地に輸送される緊急物資を船舶から荷下す状況(東日本大震災)



地震で被災した耐震強化されていない岸壁(H17年福岡県西方沖地震)

### Ⅲ 暮らしの安心・地域活性化

#### ～ 地域経済を支える港湾インフラの整備 ～

##### ■ 概要

地域経済の活性化のため、背後に立地する企業の生産活動等の強化に資する港湾インフラの整備を推進します。

##### 【整備の事例】

#### 《国際物流ターミナルの整備》

港湾の背後圏域には、電力会社やセメント系企業などが立地し、物流拠点港として重要な役割を果たしています。

輸送船舶の大型化及び背後立地企業の貨物需要の増加に対応するため、大型船による大量一括輸送が可能な国際物流ターミナルを整備します。

石炭の荷下し状況





## I 復興・防災対策

### ～ 河川等の風水害及び土砂災害対策 ～

#### ■ 概要

平成24年度九州の豪雨災害を踏まえた堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策や、深層崩壊の発生の恐れが高い地域等における緊急土砂災害対策、大規模災害に備えたソフト対策の充実、TEC-FORCE(テックフォース)の機能機能強化等を図るとともに、台風等により侵食が著しい海岸等における人工リーフや離岸堤等の高潮・侵食対策を実施します。

#### 【港湾海岸の事例】

### 《港湾海岸の高潮対策》

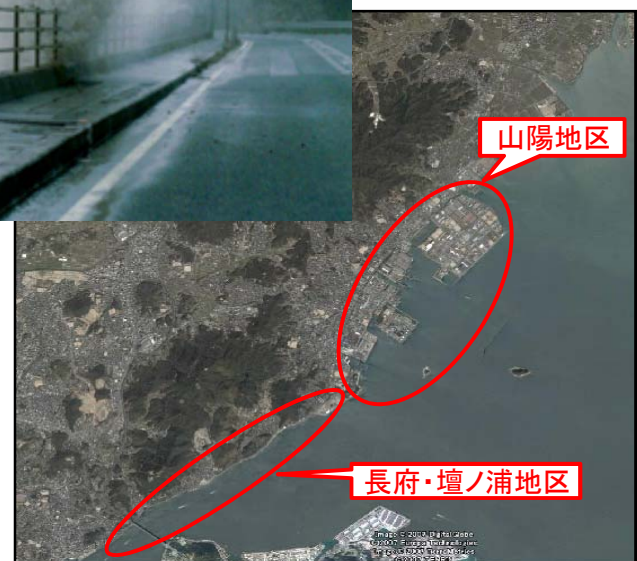
下関港海岸は、平成11年台風18号の高潮発生による浸水・越波で市民生活、企業活動等に甚大な影響が生じており、その後も同様なコースの台風が来襲する度に被害が生じています。

高潮、波浪による再度災害を未然に防止し、海岸背後の住民の生命、財産等を守るため、海岸保全施設の整備を推進します。

1999年 台風18号  
山陽地区の浸水



2004年 台風11号  
長府・壇ノ浦地区(国道9号)の越波



## I 復興・防災対策

### ～ 空港の老朽化対策 ～

#### ■ 概要

航空機の安全で安定的な運航を維持するため、老朽化している滑走路等の基本施設を改良します。

#### 【老朽化対策の事例】

#### 《老朽化した滑走路等の改良事例》



舗装表面の経年劣化によるひび割れの発生



航空機の車輪による「わだちぼれ」の発生



老朽化した舗装の改良

～ 空港の地震対策 ～

■ 概要

大規模地震による被災時に緊急物資等輸送拠点としての機能確保、航空ネットワークの維持、背後圏の経済活動の継続性を確保するため、最低限必要となる滑走路等の耐震対策を行います。

【地震対策の事例】

《大規模地震が発生した空港基本施設の補強の事例》



地震発生後の液状化現象による基本施設(誘導路)の沈下状況(仙台空港)



施工のイメージ



補強のイメージ



### Ⅲ 暮らしの安全・地域活性化

#### ～ 空港の利便性向上による地域活性化 ～

##### ■ 概要

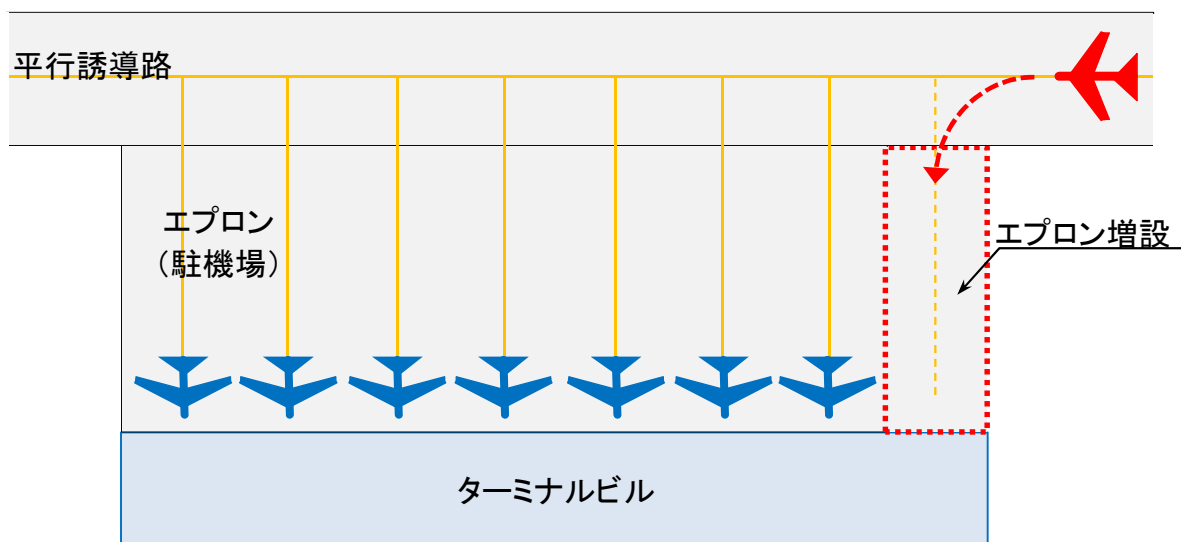
航空機の新たな就航に対応するため、不足するエプロン(駐機場)の整備を行い、地域経済の活性化を目指します。

##### 【エプロン整備の事例】

#### 《空港の混雑状況の事例》



すべてのエプロンに航空機が駐機する北九州空港



### Ⅲ 暮らしの安全・地域活性化

## ～ 国営公園の安全対策 ～

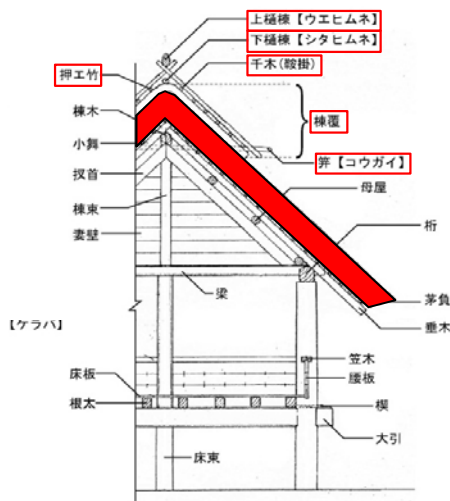
#### ■ 概要

経年劣化の進行により安全性が低下した復元建物の屋根等の補修を行います。

#### 【安全対策の事例】

≪ 安全性が低下した公園施設の補修の事例 ≫

#### 【 補 修 前 】



□・■ ～ 補修箇所



部材（コガイ）の割れ



部材（千木）の飛散

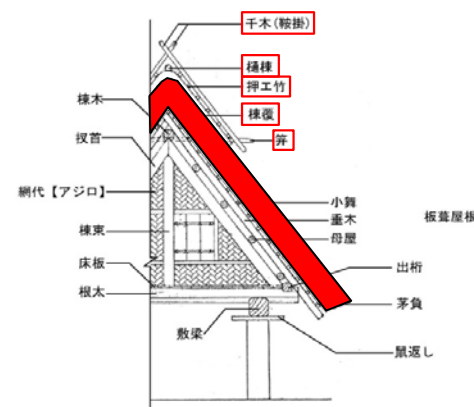


葦材のヤセによる不陸発生



屋根葺き材のヤセが著しく欠落

#### 【 補 修 後 】



□・■ ～ 補修箇所

